

したじちゅうぶん
「下地中分」に込められた戦略

～中世の荘園支配の姿をイメージする～

高校 2年 日本史探究
「武家政権の成立/
武士の社会/武士の土地支配」
資料の活用

ねらい

- 郷土資料の原本画像資料を読み解き、郷土の歴史をより身近に感じ親しむ。
- 読み取りを通じて、13世紀頃の土地支配の仕組みや空間的な「荘園」の姿をイメージできる。

学習展開

- ① 前時までの振り返りと知識の整理・補足（10分程度）
 - ・地頭とは何か。
 - ・なぜ地頭は荘園を「侵略」したのか

問：地頭の荘園侵略に領主はどう解決をはかったのか

- ② 「下地中分」とは何か。（10分程度）
 - ・活動は Chromebook を使用。
- ③ 絵図上で荘園の分割をしてみよう。（目安 18分）
 - ・班ごとに Google Jamboard を使用して作業。
 - ・そのように分けた根拠は？
- ④ 実際の絵図を見てみよう（目安 7分）
 - ・自分たちの分け方とどう異なるか。
 - ・県立公文書館デジタル郷土学習教材を利用する。
- ⑤ 本時のまとめ（目安 3分）
 - ・ワークシートへの記入（Google フォームを配信）。
- ⑥ 授業内容についてより理解を深めるための関連資料を Google Classroom を通じて、授業後に生徒へ案内。



担当教員が、Google Earth を用いて、東郷池周辺の地形を説明。



Google Jamboard を用いて、相談しながら荘園を分割する線を引いている様子。

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書は、教科担当教員と事前に打ち合わせを行い、使用する資料・アプリの提案や準備を行う。
- 学校司書は、生徒の活動に必要な資料の事前収集と提供、館内展示を行う。
- 学校司書は、T2 として、活動に必要な ICT 機器の準備や設営を行い、進行を補助する。

★指導のポイント

- ◆ 読み取り作業に「自分ならどう分けると合理的か」という問題解決の視座を付加することで、より深い思考につなげる。
- ◆ 絵図と向き合い土地利用の様相を把握することで、多様性を有する荘園内部の姿を想起させる。

資料

- ・鳥取県立公文書館作成『新鳥取県史を活用したデジタル郷土学習教材』
「[地頭の荘園侵略—東郷荘下地中分絵図—](#)」（リンクあり）
- ・『古代中世の因伯の交通 鳥取県史ブックレット12』錦織勤／著（鳥取県）
- ・『東郷荘絵図徹底解説ガイド』（湯梨浜町教育委員会作成・発行）

など関連資料